

令和5年6月27日

## 御 礼

第56回全日本医師剣道大会  
きなせや柳都・新潟  
大会長 荻荘 則幸  
(ゆきよしクリニック)

この度、第56回全日本医師剣道大会 きなせや柳都・新潟を県立ふれ愛プラザにて開催し、無事終了しました。ひとえに皆様の御協力の賜物です。全国より同伴者も含め、約200名の方々が新潟に来られ、また、地元の先生方も多数、観戦にかけつけて頂きました。

4月7日(金)、前日の稽古会を新潟市剣道連盟様に鳥屋野体育館にて設営して頂き、また、江南区剣友会の皆様には前日から会期中の3日間に渡り、また、後片付けまで御尽力を賜わり誠にありがとうございました。前日の稽古会には台湾の先生4名も含め、おおよそ30名の皆様が参加されました。山崎八段範士はじめ、八段の先生5名も来られ、皆様、大変お喜びでした。

4月8日(土)は打太刀、中村茂樹教士七段と仕太刀、鈴木和彦教士七段による日本剣道形を披露していただきました。香田八段範士の御臨席のもと、初めての試み、“立ち切り”を5人の元立ちの先生の下で行いました。

4月9日(日)は朝稽古を7時から行い、新潟市剣道連盟の皆様にも稽古に御参加いただき、また、試合審判としてお手伝い頂き誠にありがとうございました。五十嵐中学校の箏曲部による琴の演奏会、その後、八段の先生方による模範試合後に、年代別のトーナメント戦を行い、40歳代以下の決勝は新潟第一高校出身、歯科医師の渡邊祐輔先生と新潟高校出身、現在、新潟県立新発田病院の医師、小林祐太郎先生との試合で、渡邊先生が延長で一本勝ち、50代は新潟医療センターの工藤先生も決勝戦に進出しています。60代はすばらしい手に汗握る戦いでした。高橋整形外科の高橋栄一先生と、札幌の古川範士の門下であり、昨年11月に八段に合格した池澤清豪先生との決勝で、延長戦の末、高橋先生が見事に飛び込みメンを決めました。70歳代は決勝で元燕労災病院長・外科の宮下薫先生が、山形県米沢市の八段、全日本歯科医師剣道連盟会長の三條貞夫先生と対戦し、見事にコテ・メンを決め優勝されました。

非常に新潟県勢の進出が際立った大会でした。来年は神奈川県横浜市で開催されます。

最後に、一年前より何度も相談にのっていただいた山崎八段範士、また、全剣連試合審判委員長、香田八段範士に深謝いたします。

尚、前日稽古会のスナップ写真・集合写真、大会の写真・大会の組み合わせ・結果は右のQRコードより御覧ください。



↑写真



↑大会の組み合わせ  
結果